

## ◆教員養成の教育の質の向上に係る取組

○授業担当者には、小学校や幼稚園などの教育現場での実務経験豊かな専任教員を配置し、「現場で生きて使える力」を養成するアクティブラーニングを取り入れた授業を展開しています。

○定員 50 人の少人数制教育のもと、学生一人ひとりと向き合い、きめ細やかな指導や教育的支援を行うことで個々の能力の伸長を図ります。

○併設校の札幌大学や NPO 法人札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ（愛称：めえ〜ず）と共同で行う社会貢献事業や、札幌市教育委員会との連携による私立幼稚園への学生ボランティア派遣など、教育活動の支援を行うことにより自己の資質向上につながる機会を提供しています。

○「学生による授業改善アンケート調査」を各学期に実施しています。P D C A サイクルの中の「C H E C K」機能の一部として位置づけ、アンケート結果は授業別に集計し、各授業担当教員にフィードバックしています。また、学生への対応改善を強化するため、評価結果の低い教員には改善計画書の学長への提出を義務付け、教育改善の P D C A サイクルを組織的に機能させています。

○社会の要請に応える"より質の高い教員の養成"を目指し、外部団体が主催するセミナーや研修会に教員を派遣しています。研修参加者の得た知識や学びを学科内研修会で共有しています。

○教員など教育機関に勤務する卒業生で組織される「札幌大学教友会」では、毎年 8 月に本学を会場として教育課題に応じた研修会を実施しています。在学生も研修会に参加することで、教職のあり方や学校・生徒の現状を学ぶことができます。